(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2011-143070
(P2011-143070A)
(43)公開日 平成23年7月28日(2011.7.28)

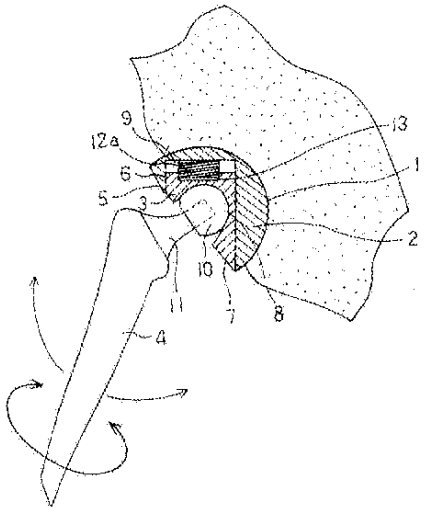
(51)Int.Cl.	F I	テーマコード（参考）
A61F 2/34 (2006.01)	A61F 2/34	4C097

審査請求 未請求 請求項の数 7 ＯＬ （全 12 頁）

(21)出願番号 特願2010-6408(P2010-6408)
(22)出願日 平成22年1月15日(2010.1.15)

(71)出願人 599035627
学校法人加計学園
岡山県岡山市北区理大町１－１
(71)出願人 508282465
ナカシマメディカル株式会社
岡山県岡山市東区上道北方６８８－１
(74)代理人 100088993
弁理士 板野 嘉男
(72)発明者 金枝 敏明
岡山県岡山市北区理大町１－１ 岡山理科大学内
(72)発明者 藏本 孝一
岡山県岡山市東区上道北方６８８－１ ナカシマメディカル株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】人工股関節

(57)【要約】
【課題】 耐磨耗性に優れる金属対金属型の人工股関節における衝撃緩和性に欠けるという欠点を両者の間に衝撃緩和材を介装させることで解決する。
【解決手段】 寛骨臼に嵌入され、外面がほぼ４５°で斜め下方にカットされ、カット面から上方に円筒状凹部が形成された金属製アウターカップと、アウターカップの円筒状凹部に旋回・摺動可能に嵌合され、下外面がほぼ４５°で斜め下方にカットされ、カット面に臨んで大腿骨ヘッドが才差運動可能に嵌入される略半球状凹部が形成された円筒体の金属製インナースリーブとからなる人工股関節であり、アウターカップとインナースリーブとの間に隙間を確保してこの隙間に衝撃緩和材を介装する。
【選択図】 図２